セキュリティ・ミニキャンプ

in 大阪 2025

振り返りレポート

セキュリティ・ミニキャンプ in 大阪 実施概要

2025年03月22日(土)
一般財団法人関西情報センター(オンライン開催)

専門講座 プログラム
09:00～09:20『オープニング』『セキュリティ・キャンプ紹介』
09:20～10:20『倫理講義』
10:30～13:00『体得しよう！RSA暗号の原理と解読』
13:00～14:00　昼食休憩
14:00～16:30『Exploit & Fix ハンズオントレーニング
～脆弱性なシステムでの攻撃と防御の体験～』

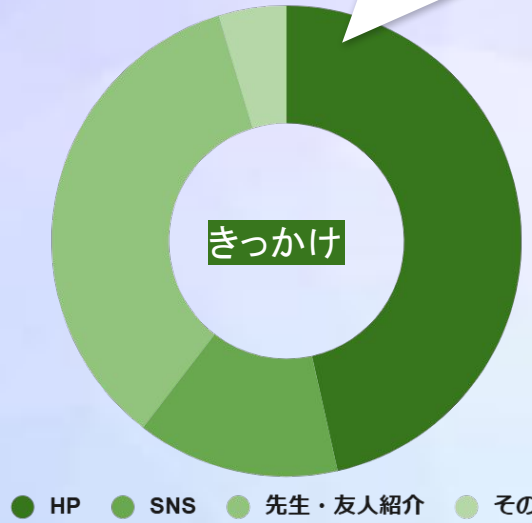
https://www.security-camp.or.jp/minicamp/osaka2025.html

セキュリティ・ミニキャンプ in 大阪 実施概要

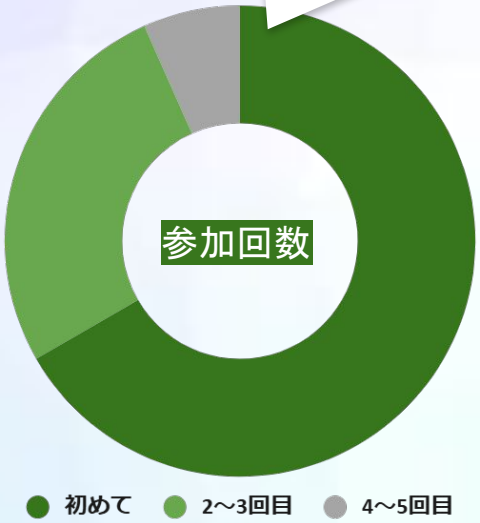
参加学生数

30名

HP、SNS、先生友人紹介
それぞれのきっかけ



半数以上が初参加

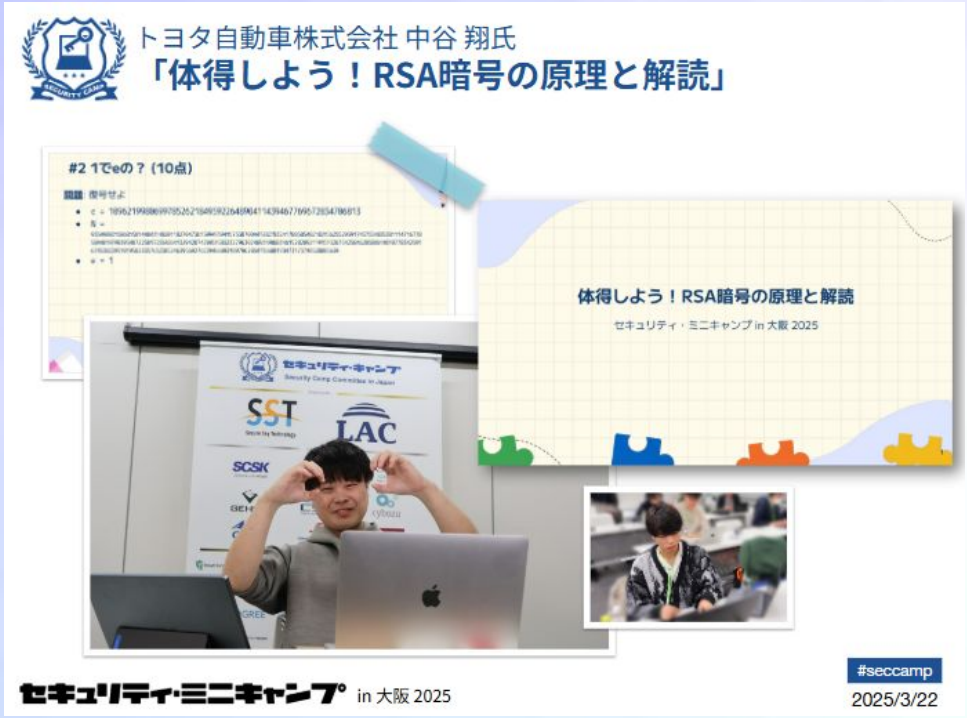


【講義1】大阪地方裁判所第21民事部（知的財産権部）判事　西尾　太一 氏
『眠たくなれない倫理』

講義内容

「倫理」と聞くとどのようなことを思い浮かべるか？説教じみた「あるべき姿」？それともこういうことをしたら処罰されるぞ、という怖い話？どれも正解で、どれも必要なものだというこ考えのもと、最終的に自分で「倫理」を考え、持つ動機づけを行い、とてもじゃないけど倫理の話で寝てられない！というようになる講義をしてくださいました。

【講義2】トヨタ自動車株式会社　中谷　翔 氏
『体得しよう！ RSA暗号の原理と解読』



講義内容

暗号の大きな枠組みである共通鍵暗号と公開鍵暗号の中から公開鍵暗号に着目し、その中でも比較的数学的に難しくないRSA暗号を題材にした講義を行いました。

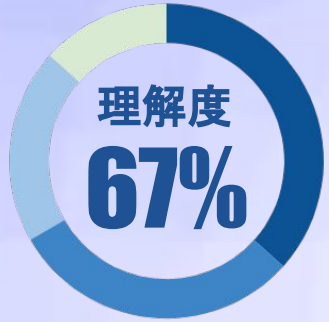
RSA暗号の仕組みを座学で理解し、暗号化と復号を実装します。その上で、特定の条件下では秘密鍵を知らなくても暗号が解けてしまうことを説明し、実際に暗号解読に取り組みました。

【講義3】三井物産セキュアディレクション株式会社　洲崎　俊 氏
『Exploit & Fix　ハンズオントレーニング
～脆弱性なシステムでの攻撃と防御の体験～』

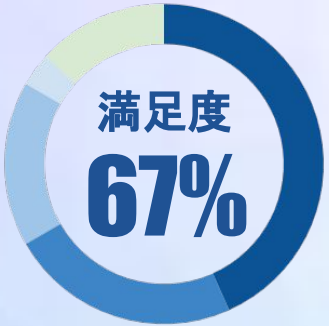
講義内容

攻撃と防御の両面よりセキュリティを学ぶ演習を行いました。
まず、あらかじめ用意された脆弱なCMS環境に対して、自分の手で実際に侵入・侵害を行ってみることで攻撃者の手法・視点について学び、その後、自分が行った攻撃の痕跡がどのような個所に残っているのかを確認しながら侵害の原因となった問題点について考察し、最後に、確認した問題点について自分で手を動かして対策してみる演習を通じて、防御手法についても学びました。このようなプロセスを通じて、攻撃と防御の両方を体験しセキュリティ技術について理解を深めました。

講義1

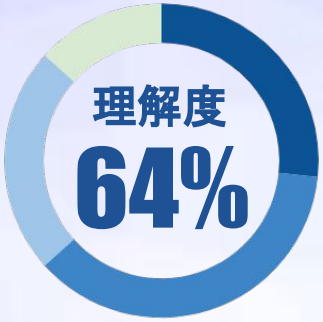


大変良くわかった　良くわかった　普通　未回答



大変満足した　満足した　普通　あまり満足できなかった　未回答

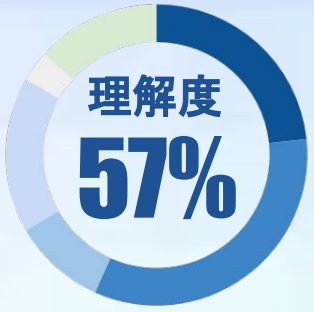
講義2



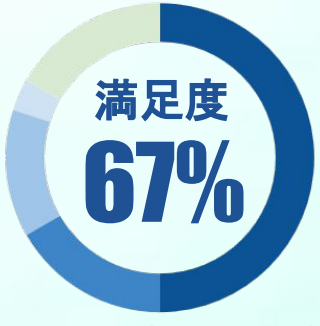
大変良くわかった　良くわかった　普通　未回答

大変満足した　満足した　普通　未回答

講義3



大変良くわかった　良くわかった　普通　あまり良くわからなかった　わからなかった　未回答



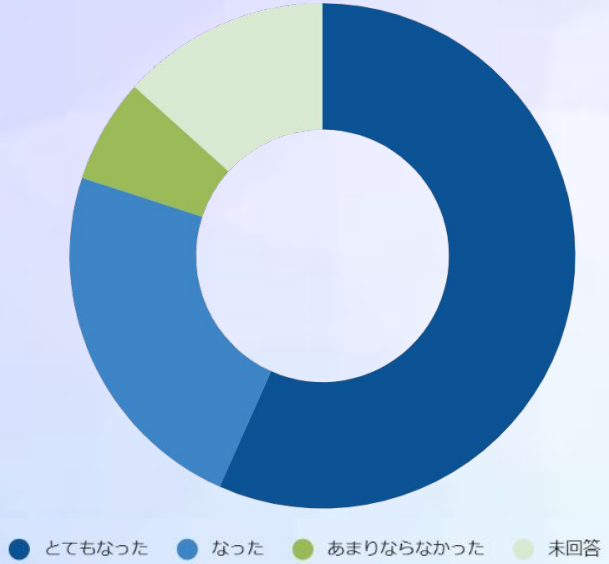
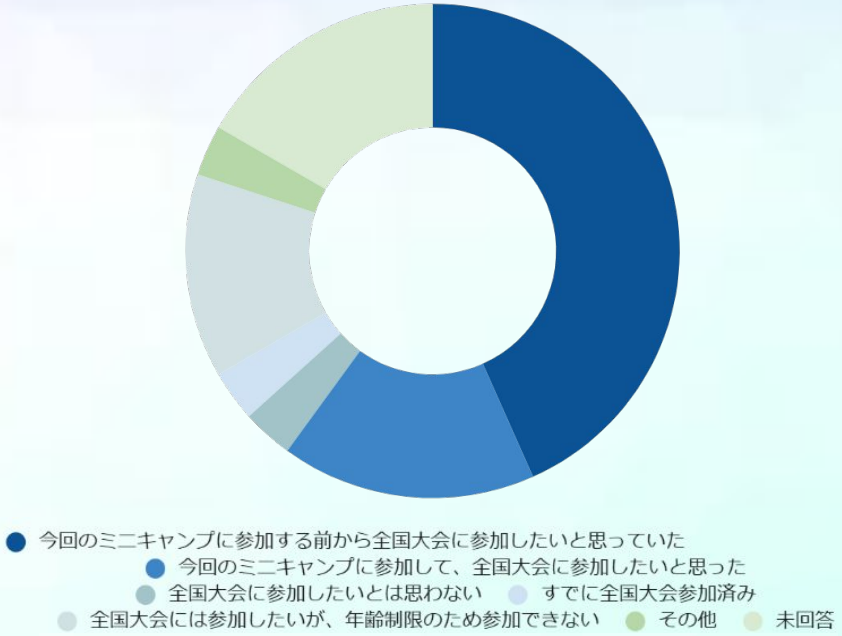
大変満足した　満足した　普通　満足できなかった　未回答

終了後アンケート

ミニキャンプの**推し**ポイントはありますか？

・丸一日セキュリティに関する講義を受ける機会は少ないので、技術、心構えともに鍛えることのできる一日になりよかった。
・セキュリティ技術を学ぶいい機会になった。また、対策方法まで考えることができいい機会になったように感じる。

セキュリティを学ぶきっかけになりましたか？



セキュリティキャンプ全国大会に参加してみたいと思いましたか？